

随筆



沖縄に帰郷して

古堅ウィメンズクリニック
古堅 善亮

1976年に高校を卒業してずっと東京にいて、その後5年間は静岡で過ごし、2007年に沖縄に戻ってまいりました。勤務先は1984年に卒業した順天堂大学附属病院産婦人科で、2002年から順天堂静岡病院にいました。とはいっても1年に1～2回は帰郷していました。しかし旅行気分ですら短期間過ごすのと、実際生活をするのとは大きな違いがありました。内地の間は車を運転したことがなく、まったくのペーパードライバーだったので、戻ってからは車の運転に慣れることから始めました。友人や親戚の車で練習させてもらったりしていましたが、一向に慣れないため、教習所のペーパードライバーコースを受講しようとしたのですが、3月という最も繁忙期のため断られてしまいました。それで個人レッスンを頼んで1日1時間、5～6回練習しました。しかしそれくらいでうまくなるわけがなく、運転下手、道を知らない、車が大きめという、ヘレンケラーのような3重苦の状態が1番のストレスでした。それから勤務が始まったのですが、地元が嘉手納で勤務先が県立南部医療センターの産婦人科だったので那覇にアパートを借りていましたがドライブを楽しむこともなく、アパートと勤務先の往復、時々実家に帰る繰り返しでした。買い物はできるだけ車を使わないように歩いて行き、ショッピングセンターに行くときはなるべく駐車場が広いところを選ぶようにしました。しかし、それでも良く壁にぶつけては同級生の修理工場で治してもらっていましたが、超お得意さんのようで、行くと相当愛想が良くなっていきました。

仕事に関しては、初めての電子カルテが一番のストレスでしたし、診療のやり方も少しずつ異なるため戸惑いがありました。1990年代か

ら東京ではとにかく効率よく、短時間に多くの患者をみるのが要求されていて、手術や化学療法で医師と看護師両方で使用するクリニカルパスが使われることが多くなっていました。医師と看護師が同じことを記録するのではなく、最小の時間と手間で最大限の効果を上げるよう工夫がされていました。しかし看護記録もムダがないか、医師側がチェックするという、行きすぎた面もあったと思います。また産婦人科の患者の違いもかなりあるように思います。関東はとにかく、冷え症と便秘が多いのです。冷え症に関して、その頃は漢方の知識がまったくなくそのまま経過をみていましたが、今考えると当帰芍薬散が効きそうな人がたくさんいて試してみたかったと後悔しています。妊婦さんはかなりの割合で緩下剤を処方していましたし、婦人科の患者もかなりの割合で便秘のかたがいて、術前の患者にはルーチンで下剤を処方していました。私は東京では婦人科癌の患者さんを多くみていましたが、沖縄の患者さんとの違いに驚きました。東京では再発しても、とにかく治療を希望する人が多いのに比べ、沖縄はあきらめがよいような気がします。おそらく、その方が治療による苦痛も少なく、賢明であることが多いと思いますが、乳がんなどの場合、手術を勧めてもやらない方がいるなど、困った面もあるのかもしれませんが。

環境面では道路が整備され、車の多さに驚きました。帰ってきてからも年々車が多くなってきて、道路の混み具合がひどくなってきたように思います。そのせいか、私の子供の頃は少なかった喘息がとて増えた（特に那覇）ように思います。また空の青さも大気汚染のせいか。黄砂のせいか以前より青さが減ったように思います。以前は時々帰郷すると空の青さに感動しましたが、今はそれがなく、年を取って目が悪くなったせいとも思いましたが、そうではなさそうです。人が増えて悪いことばかりでなく、良い面ももちろんあると思います。私が上京して、感動したのは東京のもつエネルギーで、外部からどんどん人が入ってきていて、多くの人がぎらぎらした感じがあり活気がありました。

バブル前で世界第二位の経済大国になっているものの、認知度ではアメリカやヨーロッパの国々と比べるとまだまだ低く、それらの国に憧れていた頃です。今や東京はファッションやグルメの分野で最も洗練された都市のひとつとなりました。沖縄に帰ってみると、昔の東京のような発展しつつあるエネルギーを感じ、どちらも外部からたえず、新しい刺激があり、エネルギーです。上京したばかりの頃は沖縄のことを知っている人は少なく、テレビなどでも沖縄に関する放送はほとんどありませんでした。しかしいつ頃からか（たぶん1990年代中盤以降と思いますが）、安室奈美恵のファンがアムラーと呼ばれ、NHK朝のテレビ小説で「ちゅらさん」が評判になったり、沖縄の話題が頻繁にマスコミに登場するようになりました。秘密のケンミンショーなどにも頻繁に取り上げられましたし、また航空会社や旅行会社の意図もあると思いますが、旅番組にも良く取り上げられるようになりました。そのおかげか、最近は夏だけではなく、1年中観光客が来るようになったようです。これだけ観光客が増えたのだから、

新しくできる施設はショッピングセンターだけではなく、遊園地などのアミューズメントパークができればもっといいのにとと思いますが、採算を考えると難しいのかもしれない。

取り留めのないことを書いてしまいました。2011年5月から宜野湾市大謝名（モスバーガーの裏）で開業しました。まだ患者さんも少なく、のんびりやっていて、この文章も外来の合間に書いています。開業はわからないことだらけで、今でも戸惑っていますがなんとかやっていけそうです。



原稿募集

プライマリ・ケアコーナー (2,500字程度)

当コーナーでは病診連携、診診連携等に資するため、発熱、下痢、嘔吐の症状等、ミニレクチャー的な内容で他科の先生方にも分かり易い原稿をご執筆いただいております。

奮ってご投稿下さい。

随筆のコーナー (2,500字程度)

随時、募集いたします。日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などのほか、紀行文、特技、書評など、お気軽に御寄稿下さい。